

千葉県文化財センター

研究紀要 24

— 30周年記念論集 —

平成17年3月

財団法人 千葉県文化財センター

発刊の辞

財団法人千葉県文化財センターは昭和49年11月の創立以来、本年で30年を迎えることとなりました。この間、県内に所在する埋蔵文化財の調査、普及、研究活動を多数実施してまいりました。その調査成果は、525冊の発掘調査報告書として刊行されています。

普及活動では、30周年記念展、現地説明会のほかに、各時代の出土文化財を小・中学校などの授業に活用する「土器ッと古代宅配便」などが加わり、好評をばくしています。

また、研究活動においては、研究紀要をはじめ職員相互の研鑽のため研究連絡誌を通じて、調査に関連する独自の研究事業を行ってまいりました。

研究紀要としては、第Ⅰ期「考古学からみた房総文化」、第Ⅱ期「自然科学の手法による遺跡・遺物の研究」、第Ⅲ期「生産遺跡の研究」、第Ⅳ期「重要遺跡確認調査の成果と課題」、第Ⅴ期「各時代における諸問題」を主題として進めてまいりましたが、このたび創立30周年の記念すべき年に当たり、これまで蓄積した調査の成果を集積し、当文化財センターの活動の一助とするために、研究紀要24号を創立30周年の記念論集としてとりまとめました。

本書に掲載された各論文は、在職中の職員及び転退職された方々が、日頃の研究成果をとりまとめたものです。考古学研究の資料、埋蔵文化財調査技術向上のための資料として広く活用されることを期待して止みません。

平成17年3月

財団法人 千葉県文化財センター

理事長 清水新次

千葉県文化財センター研究紀要24 -30周年記念論集-

平成17年3月22日 発 行

発 行 者 財団法人 千葉県文化財センター
千葉県四街道市鹿渡809-2
電話 043 (422) 8 8 1 1

印 刷 所 株式会社 弘 文 社
千葉県市川市市川南2-7-2
